

2026年5月

No. 251

虹



竜ヶ岳から見る南アルプス

NPO 法人さいたま山に親しむ会

〒364-0035 北本市西高尾 3-167 ヒライビル 101

Tel Fax 048-592-2814

Eメール info@saitama-mt.jp

ホームページ <http://saitama-mt.jp/>

NEWS

★来月号の会報発送は5月29日（金）の16:00～です。NPO 総会は19:00～20:00に行います。

中国の未踏峰・ロンシャン遠征の記録

会報では以前さらりと報告しましたが、現在ロンシャン遠征の記事を日本山岳協会の登山月報で連載しているのので、巻頭言でも何回かに分けて掲載していこうと思います。チームの4人が報告を分担するので、他のメンバーの目線も見えて私一人で書くより面白いと思います！

ちなみに、もっと詳しい報告は「海外登山奨励金登山隊報告集」と調べるとインターネットからも見ることができます。

第1回 遠征が生まれるまで

上野はるか記

2024年の正月明け、2週間の穂高～槍の継続登攀を終えて下山した私は、5月に予定していたアラスカ遠征に向けて、燃えていた。ところが、下山後に私の妊娠が発覚。私の山人生は終わったと思った。時間を巻き戻したいと思った。でも、妊婦にあるまじき活動を続ける私の中でも、順調に成長を続けて私の身体を内側から揺らす胎児に、観念して、2024年は私の身体を開け渡した。その代わりに、2025年は山のパートナーであり父親である夫が、その身を捧げることを約束した。

このような経緯から、妊婦の私は2025年秋の遠征に向けた準備を進めていった。アラスカはどちらかという夫の嗜好だったので、自分がゼロから遠征を組み立てるのであれば一番自分の好きなエリアにしようと思い、中国に決めた。

私が初めて中国の山を訪れたのは2016年の夏で、当時妹が雲南省の大学に通っていたのがきっかけだ。登った5396mの哈巴雪山は難しい山ではなかったが、日本人の想像する「中国人」とは違う中国内陸部の少数民族の人々の家に泊まったり、食事をしたり、ラマを一頭借りて登山装備をつけて山々を移動したり、楽しい体験だった。

帰国後、中国の内陸部に興味を持つようになった私は「梅里雪山」という本を読んだ。1991年に日中合同の登山隊が6740mの梅里雪山に初登頂した後、全員雪崩遭難した実話を書いた本なのだが、登山の様子よりも梅里雪山を聖山として敬う山麓の人々の様子が印象に残っている。その山を聖山と崇める人々からすると、雪崩事故は山の崇りであり、山頂を踏むということは親の頭を踏まれるのと同じなのだを書いてあった。



登山禁止となっている梅里雪山は登れないとしても、山麓を回る巡礼の道があるとその本に書かれていて、2018年には梅里雪山の麓をトレッキングしに行った。そこで、朝日に染まっていく梅里雪山を前にして、その神聖さを肌で感じたし、言葉に表せない美しさを見た。梅里雪山は複数のピークを持つ山脈で、それぞれのピークに王様、女王、兵隊のような名前も付いていて、そういう全体的なシルエットも格好良かった。

帰国後は中国内陸部で登れる(宗教上の理由をクリアしている)、梅里雪山のような美しい山脈を調べていくうちに、四娘姑山に出会った。四娘姑山は地球の歩き方に載っているくらい有名な山だが、4つの峰のうち2つはトレッキングでも登れるらしい。そこで2020年2月に2つのピークに登るつもりで登山起点となる日降を訪れたが、コロナの大流行が始まり、国立公園が閉鎖され、政府のバスで成都に連れ戻されたのだ。

2020年に四娘姑山を見た時から、4峰の全山縦走計画を考えていた。それは誰もやっていないことだったし、4峰と3峰のコルを起点に実行すれば実現可能性も低くはないと思った。このような登山内容から、遠征チームの人数は2、3人でなくても良いと考えた。2022年のインドヒマラヤ遠征では、パートナーである夫が標高6000mの最終キャンプで高山病になり撤退した経験があり、それがお互いにとってとても辛いことだと私は知っていた。3人パーティで計画していたが、遠征前に1人が怪我して2人になったという先輩の話も聞くと、「どうしても1人の都合がつかなくなったから行かないか？」と遠征に誘われたこともあった。1ヶ月の海外遠征を1年以上前から計画して実行していく過程では、このような可能性も十分にあると思っていた。そこで、4人パーティくらいがちょうど良いと考え、長年一緒に山に登ってきた同世代の葉狩、山岳会の気の合う仲間の鈴木、北海道在住だが女で一番強いと私が見込んだ桑原を誘った。

2024年の年末年始、私以外の3人で八海山のハッ峰へ。春には初めての4人で利尻南稜に登った。4人で2組に分かれてのコンテ、4人で2本のロープで登るピッチクライミングなど、本番で想定されるロープワークを確認した。

ところが、その春になって「四娘姑山での幕営禁止」という情報が入り、その真偽を各方面へ確かめたが、どうやら本当で、昨年からの自然保護という名目で四娘姑山を取り巻く3つの谷周辺での幕営が禁止されているようだ。一時は絶望し、踏み出した足の着地場所を探していたが、次の目的地は四娘姑山のさらに西にあるミニヤコンカ山群に決めた。3度にわたる四川省・雲南省での登山においてミニヤコンカは訪れたことがないまでもその存在は意識していた山域だった。

そして、最高峰のミニヤコンカ(7556m)の南に位置する Longshan(6684m)へ照準を合わせた。中村保氏の「East of the Himalaya Mountain Peak Maps」に掲載されている朝日に燃えるピークの写真に、かつてその美しさに言葉を失った梅里雪山の神々しいモルゲンロートが思い出されたからだ。調べてみると、Longshanは未踏峰だった。

四娘姑山の断念から2週間ほどで Longshan と出会えたのは、本当に幸運だった。私はこの遠征の発起人としてみんなの情熱を絶やさず燃やし続ける(何しろ、私以外は中国に訪れたことがないので、モチベーションに差があるのは当然) 任務があ

らと思っているので、四娘姑山がダメだとはっきりして、正直かなり焦った。このまま遠征が頓挫するかもしれないと思った。そこで改めて本を見返したり、新たに高額な写真集を買ったりして調べるうちに、そのたいして大きくもないモルゲンロートの写真が「私を見て！」と言ってきたのだった。

(次号へ続く)

今後の EVENT

◇リーダー山行

山行報告

- * 3. 15 山スキー (黒姫山)
- * 3. 20-21 山スキー (神奈山、鍋倉山)
- * 3. 28 岩トレ (古賀志)
- * 4. 4 岩トレ (阿寺)
- * 4. 5 雪上訓練 (谷川岳マチガ沢)
- * 4. 11-12 山スキー (月山)
- * 4. 18 沢登り (丹沢)

山行計画

- * 4. 25 岩トレ (広沢寺)
- * 4. 26 岩トレ (阿寺)
- * 4. 29 岩トレ (榛名黒岩)
- * 4. 30-5. 1 山スキー (鳥海山)
- * 5. 2-6 山スキー (立山)
- * 5. 10 地図読み (丹沢)
- * 5. 12 岩トレ (場所未定)

◇山荘利用予約状況

那須高原・北蓼科にあるログハウスはNPOの会員であれば、いつでも何泊でも、自由に宿泊できます。小さなお子さんの賑やかな声や、大声での談笑もここだったら気になりません。ご家族、友人、ご近所お誘いあわせの上、ぜひご利用ください。

那須山荘	蓼科山荘
4月25日、29日	
5月2~5日	
5月16日、18日	
5月29日	
6月5、6日	

◇スポーツ教室

スポーツ吹矢	クライミング	健康ヨガ
5月1日(金)	毎週火曜日と木曜日 現在は参加費をいただく教室 としてではなく、サークル活 動的に運営しています。	5月1日(金)
5月8日(金)		5月8日(金)
5月15日(金)		5月22日(金)
5月22日(金)		
5月29日(金)		

REPORT

3月22日(日) 市民ハイク 雪の湯の丸山

★初めての雪山でした。上りは何度か滑りましたが、下山は4回も転倒してしまいました。でも、皆さんが「ゆっくりでいいよ、大丈夫だから」と声をかけてくださったり、滑りにくいストックを貸していただいたりして、やっとの思いで下山しました。今までの中で一番緊張しました。本当にありがとうございました。山頂からの北アルプスは雄大で圧巻でした。寒風の中でのランチも、温かいクラムチャウダーで心身ともに温まりました。26人分のスープを、あの雪道の中を持って登ってくださり、ご馳走になりました。美味しかったです。ありがとうございました。

★雪は少なめでしたが、キュッキュッと春の雪を踏みしめる歩きが心地よかったです。山頂の展望も素晴らしく、お昼のスープのとても美味しく、短いながらも充実した山行でした。

★久しぶりの雪山、本当に楽しかったです。アイゼンも久しぶりに使いました。

3月26日(木) 川場スキー場から武尊山

★リフト2機に乗り、武尊山を目指す。今日も雨や雪、風の山です。頂上を目指すも、視界が悪く風も強く、歩も進まずでした。最終リフトに乗り遅れる可能性もあるので、残念ですが途中下山となりました。運転の藤田さん、宮入さん、同行の皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。

★北本は朝からあいにくの雨、え～川場スキー場に着く頃には霽雪 前年山スキーで、てっぺんまで行けなかったのが今回はリベンジ。上部の雪は良さそうな感じでした。途中、単独の女性とすれ違い、この方は早めにリターン。私たちも帰りのリフトが15:30で、剣ヶ峰を越えた辺りで早めのタイムアウト。眺望もなく、歩みをとめる時間も多かったのが、「バンザイなしよ」で温かいスープに癒され、またひさしぶりに久川さんと一緒に、いつも通りの山への情熱とNPO愛にホッコリでした。

3月31日(火) 大楠山から桜の衣笠山

大楠山から衣笠山へのハイキングに参加しました。あいにくの雨模様の日でしたが、逆に、貸し切り状態で満開の桜を楽しむことができました。山道を歩いている途中では、雨も落ち着いており水蒸気をたっぷり含んだ山の空気は日ごろの疲れをいやしてくれました。また、足元にはスノーフレイクや木苺?などたくさんのかわいい花が咲き乱れており、多人数で歩いていると「これは、〇〇の花」「これは・・・」といろいろと博学の方がいられて楽しいです。りすにも遭遇しました!翌日からは、新年度が始まり怒涛の毎日が始まりましたが、この日はゆったりといつもと違う日常を楽しむことができました。ありがとうございました。

T.T

4月2日(木) 弘法山

6時出発の計画を、天候を鑑みてリーダーが出発を9時に変更してくれました。おかげで北本出る時は雨でしたが、登山口はほんの少し雨。浅間山、権現山につく頃雨は止み、ピンク色のたくさん桜に囲まれ、足元には可愛い花々が迎えてくれました。ここでは残念ながら秦野盆地の展望や富士山はみえず!!

弘法山へ向かっていくと青空が見えてきて、弘法山、吾妻山につく頃は晴れ!!。桜と新緑に囲まれて展望台からは、秦野や遠く相模湾の大展望が迎えてくれました。ヤッター!

弘法山の由来は、弘法大師が修行をしたという伝説があり、頂上には鐘楼と釈迦堂があり、「弘法の清水」で美味しいお水を頂きました。絶景を堪能して鶴巻温泉にくだり、ゆったりと温泉に浸かって至福のひと時を。

はるちゃん、万里さん、色々考慮して頂き感謝です。同行の皆様、素敵な山旅を有難うございました。

(追伸) 秦野は私にとって特別な地です。戦争中東京からこの地に疎開していたのです。この疎開先で私は生まれました。農家の物置小屋を借りて、家族四人で暮らしていました。父は戦地、フィリピンに! 私は小さくてあまり記憶が無いのですが、姉の話によると、農家の方達が野菜などを分けてくれたそうです。でも食料は足りずいつもお腹を空かしていたと。母乳も出ず、農家さんから山羊の乳を買って命を繋いでいたと。この秦野でも戦闘機が飛び、農道を歩いているとき、怖くて畑の中に隠れたそうです。終戦から2年ほど経って、抑留されていた父が帰って来た時、私は、「知らないおじさんがいる、怖い」と近づけなかったそうです。大好きな父ですが。!!

長くなってしまいました~!

戦いのない、子供たちが幸せな世界になりますように。

C・K

4月14日(火) 竜ヶ岳

今回の行き先は、もともと甲州アルプスのはずでした。…が、林道工事ということであっさり4～11月まで封鎖。今シーズン登れないということじゃないの……。さてどうする、と悩む中で思い出したのが「今年は暖かくてフジザクラが早い」という山梨ローカルニュース。これだ、ということで、本栖湖のフジザクラ+竜ヶ岳という欲張りプランに急遽変更。

当日は天気も味方してくれて、登り始めから富士山の頭がちらり。幸先よし。竜ヶ岳の山頂は相変わらず広くて、ピクニックしてくださいと言う感じの場所。富士山はちょっとだけ隠れ気味だったものの、反対側の南アルプスがしっかり仕事してくれて、景色としてはむしろ大満足。竜ヶ岳何回登っても「やっぱりいいじゃん」と思わせてくれる、なかなか良い山です。

下山後はそのまま本栖湖リゾートへ歩いてフジザクラ鑑賞。ここにきて富士山も再登場し、「さっきの控えめは何だったの？」というくらいの存在感。会場は若者と外国人でにぎわっていて、ちょっとした異国感。そんな中、我々もしっかり記念写真を撮ってミッション完了。自分で言うのもなんですが、結果的に、「むしろこっちでよかったのでは？」と思える一日でした。

上野はるか

4月16日(木) 秩父札所⑨水潜寺

秩父札所巡り 34 座 結願の報告

厳しい山は随分と登って来たが、寺社巡りハイキングは私にとって初めての経験だった。

2024年4月23日に第1番札所・四万部寺から始まった秩父札所巡り、2年間かけて、34全ての寺社を回り、今日、第34番札所・水潜寺で結願を迎えた。ガイドブックの助けを借りながら、なるべく昔の巡礼道を通る街歩き・山歩きのコースを考え、9日間で全ての寺社を回ることができた。お昼を途中の蕎麦屋さんで取ることも多く、帰りには秩父の温泉に寄り、四季折々の秩父の寺、味、温泉を楽しむ旅になった。単発の企画でなく、10回近い連続企画となり、参加者が集まるだろうか、という心配はあったが、熱心に参加して下さる皆さんのおかげで、楽しい秩父札所巡りができました。改めて、参加された皆さんに感謝です。

4月17~19日 熊野古道・伊勢路

★今回のガイドさんは伊勢路の道中記をたくさん話してくださり、伊奈、鴻巣等の地名が出てきて身近に感じました。色々な思いを持ってこの石畳を草鞋で歩き熊野三山を目指したそうです。

今回も杜氏のマルさんが参加。スマホ片手に町歩きの服装で！水分は川の水、最近はお腹を壊すこともないそうです。凄い!!

★ずっと行きたかった伊勢路に行けて本当に良かったです！期待通り充実した旅でした♪八鬼山越えはハードでしたが、ガイドさんの丁寧なお話に感動して豊かなひとときを過ごすことが出来ました。伊勢神宮も外宮と内宮の神様もしっかり学べて嬉しかったです♪スタッフがきめ細やかな計画を実践して頂き感謝でいっぱいです。はるちゃんのお友達と一緒に旅でき、楽しかった。スタッフ、同行の皆さん有り難うございました。

★伊勢路の皆様大変お世話になりました。久しぶりの山旅に歩けたのでほっとしました。ゆっくり歩きにお付き合いありがとうございます😊
盛り沢山の企画にガイド付。次の計画も楽しみにしています😊

★日頃崇敬している神宮で、式年遷宮の準備を直接観られて良かったです。八鬼山、馬越峠を往来した人々の事柄、自然物のガイドを、興味をもって聞きました。それぞれの土地の様子を知る事が出来る山旅、ワクワクします。(帰ってからも振り返って調べてみて、又、嬉しくなります)

今回参加して、今までモヤモヤしていた山への傾向がわかってきたかなあと思えた旅でした。(一方で、技術体力があれば又違う面が見えるのかしら…とも)

小山さんのガイドは、メンバーの出身地に合わせた旅人日記を用意されたのでしょうか。語り口や、私達への接し方が良かったです。

★久しぶりの遠出だったので前の夜から緊張していましたが皆さんと合流、安心して旅を始められました。ガイドさん付きでの伊勢神宮は知らない事だらけだったので楽しく感心しながら巡れました。

2日目の熊野古道伊勢路では高低差600m6時間と聞いて心配でしたがガイドさんの説明を聞きながら何とか登れました。歩き安いように工夫された敷石が深い森の中に続き素敵でした。またガイドさんが昔の巡礼の記録から埼玉県に関わる事例をいっぱい取り上げてくださり、一層身近に感じられました。当時の互助の考え方がとても尊く思えました。皆さんのおかげで無事に熊野古道を歩いて良かったです。

美味しかった宿のお料理と楽しいおしゃべり、熊野古道をご一緒したマルティンさんとちい子さんから頂いたお酒がとてもフルーティーで美味しかった事。大満足の旅でした。楽しい旅の企画、長時間の運転など大変お世話になりました。ご一緒してくださいました皆さんありがとうございました。

★お伊勢様詣りは、3度目の正直で、ガイド付きのおかげでシッカリちゃんと出来て良かったです。古来よりの巡礼の道を、素晴らしい石畳の道を歩いて幸せでした。ガイドさんがギターで歌ってくれた、熊野古道の唄を覚えたいと思います。まりさん、はるかさん、皆様、マルティンさんと職場の方、お世話になりました。またの企画をおまちしております。

4月23日 御前山

なんとか降らないでくれ！そう念じながら、御前山登山口へと小河内ダムを渡る。取り付きはそれなりの急登だったが、降り出す前に山頂に行きたいと、皆さん頑張って登っている。小休憩を挟みながらだが、1時間15分で460mも標高を稼いでいた。ミツバツツジや咲き残りのカタクリが我々を励ましてくれている。願いは叶わず、惣岳山からは本降りになってしまった。御前山の頂上では記念写真もそこそこに、惣岳山のベンチに戻って温かいスープで一息ついた。雨で滑りやすくなった登山道を、ひっそりと咲くヒトリシズカに見送られながら下山する。雨に洗われて新緑が美しい。雨の山行となってしまったが、登頂した達成感で、皆さんの笑顔は晴れ晴れとしていた。

宮入 裕貴

山旅 TOPICS

1. 群馬県は尾瀬国立公園での導入を検討している入域協力金について、この夏、10500円を目安に実証実験を実施する。協力は任意で、木道の修繕費や登山道整備などに充てる。実証実験を来年度も行った後、他県も含めた公園全体での導入を提案することを目指す。協力金は、鳩待峠と大清水で、現金かキャッシュレス決済で受け取る。
2. 静岡市は、南アルプスの市営百間洞山の家を修繕するために、通常9月下旬まで行っている宿泊営業を8月末で終える。ただし、管理人が常駐するため、テント泊と飲料・食品等の販売は9月下旬まで継続する。
3. 長野県は6月から、「世界水準の山岳高原観光地」をめざす財源として宿泊税を導入する。宿泊事業者が宿泊者から1泊につき300円を徴収する義務を負うもので、登山者が宿泊する山小屋も対象となる。年齢の制限はなく、テント場の利用は対象外となる。
4. 4月15日に立山黒部アルペンルートが営業再開となったが、再開に合わせ、立山駅の2階にモンベルストアが入り、大幅なリニューアルオープンとなった。モンベルショップでは、行動食も扱っており、消耗品や忘れ物の補充ができる。
(『岳人』『山と溪谷』を参考にしています)



3月17日(火) 高畑山と倉岳山



3月26日(木) 川場スキー場から武尊山



3月31日(火) 大楠山から桜の衣笠山



3月22日(日) 市民ハイク 雪の湯の丸山



4月2日(木) 弘法山



4月14日(火) 竜ヶ岳

4月17~19日 熊野古道・伊勢路



4月16日(木) 秩父札所⑨水潜寺

4月23日(木) 御前山